

大分県PTA



はぐく美

発行所
 大分市大字下郡496-38
 大分県教育会館2F
 大分県PTA連合会
 ☎(097)556-9055

責任者
 池部 英明

印刷所
 大分市下郡3154の22
 九州凸版印刷株式会社




http://www.oita-pta.com/

つどいそだてる PTA・協育 子どもの未来

大分県PTA連合会は、県内16郡市等PTA連合会(協議会・育友会)と連携し、会員の資質向上を主体に70年を超えて子どもの健全育成に努めてきた。それらを引き継ぎ、子どもたちの輝く未来のために家庭・学校・地域の教育力の総合的向上と子どもたちの健全育成に真摯に取り組む県P連の姿を追う。

このスローガンのもと、家庭・学校・地域の力を一つにして社会全体で子どもの成長を見守り、子どもたちが毎日学校に通う日常を当たり前のものと軽んじることなく、平穩な生活の中にある「幸せ」を感じて大切できるように、県P連は3つの「基本方針」を定めている。また、これを実践するために「活動目標」を8項目置いている。

今、UnitはPTA

使命を果たすために

県P連は、年間スローガンに「ともにつながり育て合おう! 光り輝く地域の宝のためにPTA・協育・子どもの未来」を掲げる。

2~3
特別企画
子どもたちの未来を拓く



要望書提出



工藤県教育長に要望書を提出する池部県P連会長

大分県PTA連合会は、11月6日に工藤利明県教育長に対し、令和3年度における「中学校3年生学力診断テスト」継続実施についての要望書を提出した。

また11月13日に、広瀬勝貞県知事ならびに工藤利明県教育長、県私立中学・高等学校協議会会長に対して「新型コロナウイルスに感染した場合等の受験生への特段の配慮について」の要望書を提出した。

このコロナ禍の中、子どもたちは自分の夢に向かい今まで以上に日々精一杯、勉強等に励んでいる。今回の高校受験にあたっては、感染の不安も重なり、より多くの不安を抱えての受験が想定される。

令和2年度高校受験の実施にあたり受験生が感染、あるいは感染が疑われる場合に、受験生の進学機会、および夢の実現の確保を図る観点から、特段の配慮を講じていただくよう要望した。

県PTA 研究大会

県P連は「研修の充実で会員意識の向上を図り、活力あるPTAを目指したい」との強い思いから、有意義な研修のあり方を協議。一年間に行う各種研修会の結果の場になるよう、全会員を対象に本会を始めた。家庭・学校・地域と連携し協働を図りながら、

子どもをみんなで育てるという思いを、会に集い共有することで、PTA活動の活力と推進力を探求することを目的としている。

第1回大会は平成4年2月に大分市で開催。現在、県内16郡市を輪番で開催している。今年度は由布市で、第29回大会が1月24日(日)に行われる予定となっている。

本会は、全体会と分科会の2部構成。全体会では記念講演が行われ、地域で活躍する団体のアトラクションもあり、開催地の魅力も堪能できる内容になっている。分科会では、家庭教育や人権教育他、分科会毎に分かれて提言校が実践発表する。テーマを中心に充実した討議や、意見交換が行われている。

全単位PTA 会長研修会

県P連が発行する「PTA会長研修資料」を基に、各郡市等P連が各地で主催する単P会長研修会での研修を経て、単P会長が年に1回一堂に会して行われる研修会。組織の牽引役としての資質の向上を図るとともに、生涯学習の視点に立った単Pの研修活動を推進することが目的。

会員全体の力で活力あるPTAを維持し続けるためには、会員一人ひとりのスキルアップと会員相互の研鑽が重要。

「シャウト」を実施。結果については3面に掲載している。

力を発揮するために

基本方針(要約)

1. 家庭教育の充実のため、会員一人ひとりの生涯学習を支援していく。
2. 単P、郡市P連が行う各種研修会、会員および家庭・学校・地域・関係機関との「協育」活動を支援していく。
3. 家庭教育・学校教育を担う団体としての使命を果たしていく。

活動目標

- ① 子どもの健全育成
- ② 会員の資質の向上
- ③ PTA組織の確立と運営の強化
- ④ 義務教育の振興
- ⑤ 人権教育の推進
- ⑥ 国際理解教育の推進
- ⑦ 広報活動の推進
- ⑧ PTA会員・児童・生徒の安全確保

昨年のグループ討議の様子



グループ討議では、規模別に小学校と中学校をグループに分け、意見交換や情報収集が行われる。会長同士、交流を通じて各単Pの活動の見直しや問題解決の糸口をつかむ機会になっており、どう考え動くのか、会長としてのあり方を考える場になっている。



各郡市等P連を代表して集う県P連理事たち

今年度の研修会はコロナ禍の状況に配慮し、単Pの活動の現状を把握するための「ア

県P連でも、各郡市等P連の代表者ら幹部に対し家庭・学校・地域社会における教育について、理解を深めるための研修会を開催している。さらに県内各郡市等P連の振興を図るため、専門部会などを通じて各PTAに関する情報を収集し共有。共通認識をもって活動に取り組めるように努めている。

これからも県P連は、目的を見失わず時代の流れに合わせた柔軟な対応を目指していく。

初めの俳句教室ということで子ども達は興味津々。始業前から着席して私を待つ。子ども達に馴染みながら、3密の中にあつて元気なその姿に安堵。どんな学びが始まるのかと瞳を輝かせて待つ姿が眩しい▼初めての俳句との出会いは五・七・五のリズムをつかむことから始まる。身近な出来事を指を折り折り五・七・五にまとめる子ども達。マスクはねいろんなもようがついてくる(この)みずたまりかぜでゆれるとこぼれるよ(あおば)五・七・五であそんでいるよたのしいな(ゆうき)などの発表に教室は和む。次はこの頃の自然の様子、今日の窓外を眺めての句作り。その中に季節が自然に入ってくるのを期待する▼初めての句作りであるが、子ども達の感性の豊かさに驚かされる。感じたことをすぐにことばで表現できるその姿に目をみはりながら、その鋭い感性、表現力は何処で身につけたのかと考える▼読書や多くの人と接することでことばは豊富になってくる。自然とのふれ合いを多く持つことで自然の不思議さや素晴らしさに気づく。様々な体験の場を小さい頃から如何に多く作ってあげるか、それが私達人間の役目だと思ふ▼まだからねつめたいかぜがふいてくる(けんた)かぜふいてさむいさむいとほくがいう(こういちろう)こうえんでジャンプしているキリギリス(たいり)ひがんばなおひさままたいまつかつか(かずたか)かぜがふくさむいよどこかあしもとが(つばき)▼「あすまた、学校に来るの?」見上げる子ども達のまなざしが優しい。小野 京子



今日は一年生の俳句教室。十月の窓外は秋の気配だ。

特別企画

子どもたちの未来を拓く

臨時休校や休校の間、また学校を再開する意思決定をされた時どのようなことを考えていましたか。



別府市長 長野 恭紘

新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から、学校が長期間にわたり臨時休校するという異例の事態。停滞する社会と同様にPTAも活動の休止、縮小を余儀なくされた。様々な施策がなされるコロナ禍において、別府市長であり現役のPTA会員でもある長野氏と教育長として別府市の教育現場に携わる寺岡氏に話を聞いた。

長野 今回改めて思ったこと、子どもたちって大人が思っている以上にタフなんだなということ。どうでも変化する強さがある。だからこの短期間で、夢が打ち砕かれたというのであれば、夢のつくり方がどうだったのか、その指導方法に問題はなかったのかと、考えるべきではないでしょうか。

池部 ある校長先生が話されたことですが「学校は二つのものを子どもと家庭から預かっている。それは子どもの命と子どもの夢。この臨時休校は、子どもの命を守ったけれども夢を守れてなかったという葛藤がある」と言われた時に、私も何が正しいのか分からなくなりました。

寺岡 私は学校の校長先生方と色々話をしまして「少しぐらいならいいのでは」という思いがありました。しかしそこは私たちの甘さで、市長が言うように、子どもたちの命、身の安全が第一です。葛藤は当然ありましたが、教育委員会が判断する時のひとつの根拠であり、そこがぶれたらいけないなと思っていました。

長野 今改めて思ったこと、子どもたちって大人が思っている以上にタフなんだなということ。どうでも変化する強さがある。だからこの短期間で、夢が打ち砕かれたというのであれば、夢のつくり方がどうだったのか、その指導方法に問題はなかったのかと、考えるべきではないでしょうか。

池部 一貫した気持ちをもつことは必要だと思います。また、困難を乗り越える姿、臨機応変に行動できる姿を大人が子どもに示すことも大切です。それが家庭教育や学校教育に繋がっていくわけですから、生きる力を養うために大事なことです。



別府市教育委員会 寺岡 悌二 教育長

寺岡 私は学校の校長先生方と色々話をしまして「少しぐらいならいいのでは」という思いがありました。しかしそこは私たちの甘さで、市長が言うように、子どもたちの命、身の安全が第一です。葛藤は当然ありましたが、教育委員会が判断する時のひとつの根拠であり、そこがぶれたらいけないなと思っていました。

長野 まず、やってはいけないことは「ぶれる」ことです。大人が「ぶれる」と子どもたちは動揺します。大変ですが、子どもたち一人ひとりの夢や目標に寄り添い、コロナぐらいでは崩れない長い視点での取り組みを学校・地域・家庭で推進していくべきでしょう。

池部 一貫した気持ちをもつことは必要だと思います。また、困難を乗り越える姿、臨機応変に行動できる姿を大人が子どもに示すことも大切です。それが家庭教育や学校教育に繋がっていくわけですから、生きる力を養うために大事なことです。



コロナとともに 生きていく

2020年、東京でオリンピックが開催され、多くの外国人が日本に観戦に来て、インバウンドはさらに拡大し、経済は飛躍的に伸びていくはずでした。それが一転、子どもたちだけでなく大人にとっても、今まで生きてきた中で激動の一年になりました。学校生活は運動会や修学旅行、文化祭や部活動などさまざまな行事で変更・縮小・中止を余儀なくされてきました。普段の生活における取り組みも、換気や手指の消毒などいろいろなことをしなければならなくなりました。

しかし大きな変化はマイナスをもたらしたわけではありません。子どもたちは「限られた状況で何をすればいいか」「何ができないかではなく、「何ができるか」など、この一年間でたくさん学び実践できたのではないのでしょうか。これはこれからの人生において大きな糧となることではないでしょうか。

おそろくこれから我々はコロナウイルスとともに生きていかななくてはならないでしょう。飛び交う情報を鵜呑みにするのではなく、自分で調べ判断をしながらの生活を強いられると思います。こんな時代だからこそ、目の前の家族・友人・先生・地域の人とコミュニケーションをとりながら、共有していくことが大事だと、私は思います。

佐伯市PTA連合会 副会長 染矢 和陽

新型コロナウイルスの影響について聞く

池部 新しい生活様式を実践しながら、ようやくPTA活動にも取り組めるようになりまし。しかし同じことを繰り返しても今回のような不測の事態に陥った時にはまた同じように混乱するだけ。今回の懇談が県内のPTAの方向性を模索していく中で、「きっかけ」となり、各単Pで今後のあり方を考え、見直しを進める基になることで、今できるPTA活動が見えてくるのではないかと思います。

長野 子どもたちが、密になる学校で接触すればクラスターが起きてしまう。そこを危惧して国が休校要請をしてきたと思いますが、決めるのはあくまでも都道府県の市町村単位の教育委員会。あの時期にあの状況で判断するのは、本当に難しかった。

池部 休校中から再開に向けてはまずどういったことをお考えになりましたか。

長野 まず、子どもたちの学習機会を奪わないように、家庭のなかでの学習時間を

子どもたちが、密になる学校で接触すればクラスターが起きてしまう。そこを危惧して国が休校要請をしてきたと思いますが、決めるのはあくまでも都道府県の市町村単位の教育委員会。あの時期にあの状況で判断するのは、本当に難しかった。

池部 休校中から再開に向けてはまずどういったことをお考えになりましたか。

長野 まず、子どもたちの学習機会を奪わないように、家庭のなかでの学習時間を

子どもたちが、密になる学校で接触すればクラスターが起きてしまう。そこを危惧して国が休校要請をしてきたと思いますが、決めるのはあくまでも都道府県の市町村単位の教育委員会。あの時期にあの状況で判断するのは、本当に難しかった。

池部 休校中から再開に向けてはまずどういったことをお考えになりましたか。

長野 まず、子どもたちの学習機会を奪わないように、家庭のなかでの学習時間を

子どもたちが、密になる学校で接触すればクラスターが起きてしまう。そこを危惧して国が休校要請をしてきたと思いますが、決めるのはあくまでも都道府県の市町村単位の教育委員会。あの時期にあの状況で判断するのは、本当に難しかった。

池部 休校中から再開に向けてはまずどういったことをお考えになりましたか。

長野 まず、子どもたちの学習機会を奪わないように、家庭のなかでの学習時間を



大分県PTA連合会
池部 英明 会長

赤峯 市長も在学のお子さん
がPTA会員というこ
とでお尋ねします。
本年度、コロナ禍により
多くのPTA行事が中止ま

**コロナ禍における
PTAについて聞く**

長野 現実には厳しい意見が
多く寄せられました。市長
にその機会を奪う権利はあ
るのかと。でも、何が一番
大事なのかを考えれば、や
はり命なんです。子どもだ
けでなく、周りの大人の命
も守らないといけません。

寺岡 他市町村の教育長から
も言われました。リーダー
の立場にある人はとにかく
ぶれたらいけないと。
子どもたちの一生の思い
出になる卒業式や入学式に
保護者を入れないという判
断は、密を避けるためとい
え厳しかったかもしれませんが
。ただ市長は厳しい
ことも言うけれど、必ず夢
をどこかで与えてくれまし
た。出席できない代わりに
別府市の責任で、式の様子
を撮影したDVDの予算を
確保していただき、卒業生
全員に配るという対応をし
ていただきました。

たは縮小となりました。ま
た活動には多くの制限と制
約が生まれ、活動を休止し
たところもあります。しか
し、PTAは学校と家庭を
繋ぎ、さらに地域を繋ぎ、み
んなで子どもを育てていく
ことを信念とした組織です。
このような困難な状況にあ
る時こそ活発に活動してい
かなければと思っています。

池部 PTA会員の多くが保
護者でありながら、活動の
方向性を学校側に頼るとこ
ろもあり学校の負担になっ
ていたのではないかと危惧
しています。PTAのあり
方や運営などは、各PTA
に委ねていますが、コロナ
禍のなかで活動ができてい
るPTAは、平時に築いて
いた学校との協力関係が活
動再開の後押しに繋がった
のかもしれない。また県
内には、学校行事とPTA
行事を分けていこうとい
う地域もあります。PTA

今回の非常時において
PTAとの連携の大事さを
感じました。例えば、一斉
メール。これは緊急時に役
立つ連絡網ということ、
PTAが率先して学校長に
導入を勧めました。現在で
は別府市全域でほぼ整備で
きている状況です。もしPTA
の方の発想がなければ、
この非常時の対応は、大変
だったと思います。今後も
家庭と学校、地域の中核と
して、学校の運営に参画し
ていただきたいと思います。

寺岡 学校にとって、PTAと
はどのような存在だとお考
えでしょうか。

こういった危機の時に
こそ団体の価値が問われる
と思うんです。危機に備え
てのことは平時にしかでき
ないので、あらゆるリスク
マネジメントを考えておく
必要がある。本番に動ける
というのは日頃からの備え
なんです。また先生方だけ
ではできない、行政だけで
はできない、そういったこ
とをPTAが行政や学校側
に提案をして主体的に動い
ていただける存在であって
ほしいと思います。

保護者と教職
員が協働して活動
し、家庭教育と学
校教育を繋げるも
の。別々にとなれ
ばPTAの存在意
義は失われてしま
うと考えています。

ある小学校は、
PTAの方たちが
参画して運動会行
事と一緒にしてく
ります。そうす
ると、先生方の負
担を減らしている
んです。また不登
校の問題にしても
PTAの方と一緒に案を出
します。まさに協働の発想
ですね。子どもの安全・安
心と学びの保障には必要
ないと私は思います。個人
情報の問題がありますから
そこは当然守っていただく
ようにお願いしています。



(司会) 大分県PTA連合会
赤峯 慎太郎 副会長

PTA会員の皆さんは
教職員や保護者という立場
で、子どもたちに近い存在
です。しかしPTAという
存在は、保護者でない俯瞰
したものの見方をしないと

長野 PTAに求められて
いるものは何だとお考えで
しょうか。

どの組織も同じですが
リーダーが「何が大事なの
か」ということを常に示し
ていくことで、目的に沿っ
た活動ができます。学校現
場と行政と教育委員会とP
TAと保護者の間で「子ど
もたちの幸せはこれだ」と
いう共通項みたいなものが
あると、何のために活動し
ているのか納得して取り組
むことができると思います。

PTAの方と一緒に案を出
します。まさに協働の発想
ですね。子どもの安全・安
心と学びの保障には必要
ないと私は思います。個人
情報の問題がありますから
そこは当然守っていただく
ようにお願いしています。

いけない立場だと思えます。
保護者という視点だけでは
PTAの良さが活かしきれ
ません。広い視野があれば
学校で不足しているところ
に協力できるし意見も言え
る。家庭や学校、地域を繋
ぐ役割があるPTAの力は
私たちとしても重要ですよ。

令和2年度 全単位PTA会長アンケート結果報告

「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」等とPTA活動について

(結果は一部抜粋して掲載)

調査期間：9月～10月初旬
実施対象：県内全単位PTA会長
回答形式：記述式
回答状況：79% (285/359単位PTA)

問 PTA活動への影響について

- ◆役員交代の時期と重なり、混乱した学校もあった
 - ◆PTA総会も中止・延期となり、書面決議となった
 - ◆保護者間、先生とのコミュニケーションがとれない
 - ◆会議の開催ができず組織の意思統一や周知ができていない不安
- 活動の多くは縮小や延期、中止等滞っている状況。
しかし「できる範囲でできること」に取り組むPTAは多い。

問 子どもの家庭生活への影響について

- ◆外出自粛でのストレス
 - ◆生活リズム・食生活の乱れ
 - ◆TVの視聴やゲーム等の時間が長くなった。昼夜逆転する子もいる
 - ◆インターネットやゲームに関しては学校再開後も依存度が増えた
- 保護者の目が届かないことでのマイナス面、特にメディアの使い方に関する意見や外出自粛によるストレス、体力の低下を懸念する声が多く。しかし家族で話す機会が増え、積極的に手伝いをする等プラス面も。

問 子どもの学校生活への影響について

- ◆学校再開後、不登校の子が増加
 - ◆子どもたちと先生とのコミュニケーションが取れていない
 - ◆新一年生のリズムが作れない(家庭生活においても)
 - ◆換気や消毒作業等が大変なので学校支援の先生の配置は良かった
 - ◆オンライン授業、学活等の取組があった。家庭訪問の実施も
- 学習の遅れや学校行事、部活動の大会中止などで子どもたちの意欲の低下が心配される。また不登校やいじめなどの心のケアについて、SCやSSWとの連携も重要。

問 子どもの地域生活への影響について

- ◆子どもたちが参加する行事やイベントが中止となり交流がない
- ◆子どもたちだけで遅い時間まで遊んだり出歩いていた(地域の方の見守り)
- ◆あいさつ運動や交通指導は実施
- ◆マスクをせずに歩いたり、お店に入ると学校に連絡が入る
- ◆祭りや行事がなくなり、子どもたちは残念に思っている(伝統継承への不安)
- ◆縮小や中止に慣れ、通常に戻るのが困難。継続する意欲の低下
- ◆自粛中、公園で遊ぶ子どもを注意する大人がいた

子どもに対し「出歩くのはどうか」といった過剰な反応も多い。マスク姿で、子どもの顔が見えない、声が聞こえない等の意見はあるが、地域での活動を例年通り検討しているところも多く地域の方々の子どもの関心は高い。

問 PTA活動で工夫した点

- ◆行事等、精査しできる限りのことは行った
 - ◆業者委託のメールやSNSを活用し、会議などは最小限にした
 - ◆LINE等の活用で連絡網より正確で早く対応できている
 - ◆PCやモニターを活用、リモート会議を開催した
- 非対面の会議や3密対策にそったPTA活動を展開。会費を減額する等の負担軽減も図っている。

問 緊急時におけるPTA活動の在り方について

- ◆コロナを理由に「活動しない」という方向に流れないようにする
 - ◆地域や学校規模により対応は異なるが、ある程度の統一された対応が必要
 - ◆学校、保護者、地域の連携強化
- 早急に緊急時のマニュアル・ガイドラインの整備が必要。日頃から、保護者・学校・地域との連携、情報の共有、意思の疎通が大切。



宇佐市P連指導者研修会に参加して



あいさつする
山田弘樹宇佐市P連会長

今年度、県P連が毎年開催する全単位PTA会長研修会がコロナ禍のため中止となり、県内のPTA会長が一堂に会し、PTA活動での諸課題や情報を共有する研修の場がなくなり、11月1日、宇

佐市P連主催の指導者研修会に参加させていただきました。宇佐市P連は「子ども育ち」を活動目標に掲げ、研修活動にも力を入れて、研修会では3密回避・検温・消毒等のコロナ禍での感染対策が十分に講じられた中、対策が十分に講じられた中、対策が十分に講じられた中、対策が十分に講じられた中、

形式で行われました。発表の中で各学校の特色ある取組とその成果はもとより、活動していく上での課題や問題に真摯に向き合う姿勢が見られました。現況下で出来る限りの活動を続けていく事こそPTA活動の活性化に繋がると改めて感じました。最後に研修会開催にご協力いただいた宇佐市PTA連合会、並びに会員の皆さまに心より感謝申し上げます。

大分県PTA連合会
副会長 佐藤 健吾



文部科学大臣表彰

日田市立日隈小学校教育友会

日本PTA会長表彰

大分市立森岡小学校PTA
杵築市立杵築中学校PTA

横松 寛二(中津市)
小野 伸介(宇佐市)

九州ブロックPTA協議会長表彰

別府市立別府中央小学校PTA
別府市立亀川小学校PTA

横松 寛二(中津市)
小野 伸介(宇佐市)

横松 寛二(中津市)
左藤 弘美(津久見市)

令和2年7月豪雨災害義援金のご報告

～被災会員・学校へ義援金とランドセルを届けました～



日田市立東漢中学校にて吉野校長へ義援金を手渡す池部県P連会長

- 九州ブロックPTA協議会より災害義援金 200,000円
- 大分県PTA連合会「ここは命の星基金」募金より 20,273円
- 熊本県PTA連合会よりランドセル 5個

大分県P連の会員の皆様からお預かりした募金と九P協よりご厚情の義援金、および熊本県P連からのランドセルを被災された由布市、玖珠郡、日田市の被災会員の皆様と日田市の被災学校1校へお届けしました。

学生・子ども総合保険のご案内

令和3年度よりスマホによる手続きが始まります

パンフレットを見ながら、画面の流れに沿って、簡単にお申込みができます。

スマホによる手続き簡単ガイド



※QRコードの読み取りには、QRコードリーダーアプリのダウンロードが必要な場合があります。

トップ画面

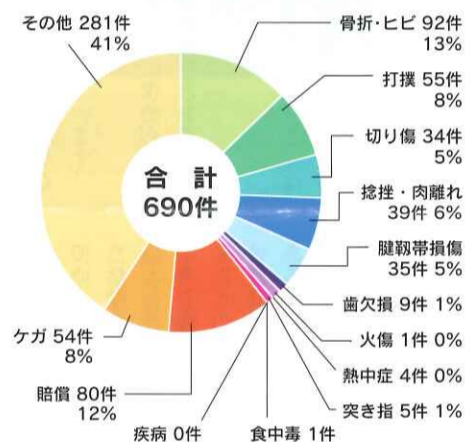
スマートフォンでのお申込みについて

2021年度〇〇〇〇団体募集

アクセスコードを入力

新規手続きへGO!

令和元年度「PTA安全補償」「学生・子ども総合保険」



発生件数と事故要因

全体では、骨折事故が最も多く92件。次いで賠償事故が80件と年々増加傾向にあります。賠償事故は支払保険金が高額化することも多く、万が一、事故の加害者となってしまった場合に対応出来るよう備えておく必要があります。

学校内	23%
学校外	23%
部活	8%
自転車搭乗中	27%
PTA活動中	19%

(保険金支払完了データより作成)

事故にあわれた時のご連絡先

24時間365日事故受付サービス
「三井住友海上事故受付センター」
☎ 0120-258-189

保険にかかるお問い合わせ

(取扱幹事代理店)
MS九州株式会社 大分支店
☎ 097-538-8880

(取扱代理店共同募集)
はぐく美保険サービス株式会社
大分市大字下郡 496-38 大分県教育会館2F
☎ 0120-56-8993
(受付時間: 月～金 9:00～17:00)

三井住友海上の安心

GK

www.ms-ins.com

大分県PTA連合会補償制度

令和3年度の学生・子ども総合保険は、補償内容を充実、パワーアップして令和3年2月1日より募集開始します。

失敗の値うち
お日様に顔を向けた山イモの葉とツルは、土の中で育ちはじめた小さな子どもイモを大きく、太く育つよう力のかぎり、頑張っている。外から見ると不恰好だが、土の中では、色白の太り盛りの細い山イモが養分を蓄えながら、ここぞとばかり、成長に動んでいるように思える。ピー玉よりも少し、小振りの「むかこ」は、山イモの種。今、姿、形を変えてしまっ

それから...

間が長い子どもたちに、失敗とは何かを追求してほしいものである。



深呼吸
土の中の太り上がったイモを掘り上げ、手にしながら、「ひとり、暗い中、よく頑張った」と、つぶやく。山イモ掘りの時期には、土を掘る重労働を覚悟のうえで、チャレンジしてきたが、今年はその気になれない。

そこで、山イモへの思いを込め、「生きる」と重ねて、雑文を考えた。若い頃は、掘る意欲は、食する楽しみに、つながっていたように思っていたが、最近「生きる」意味とつながって考えるようになっていた。

潮のように思えてならない。特に、子どもの育ちの中で失敗に向き合う教育的な価値に対する深い意味合いへの追求が、おろそかにされてはいないか心配である。人生に向き合う時

編集後記

▼振り返れば反省することはいっぱい。でもそれはその時のベスト。悔やむのではなく踏み出す糧とする。(O)

▼想定外対応は疲れる。家族間だと尚更だが、摩擦から得るものも多く、視野を広げ人生を豊かにしてくれる。(T)

▼今年は親子で風邪知らず。マスクと手洗いの効果を実感。昨年、予想だになかった状況は新しい年どうなる?(I)

▼買い物中に初対面の方から商品の場所を聞かれ案内すること数知れず。これも何かのご縁。会話に花が咲く。(K)

県P情報

第29回大分県PTA研究大会

由布市大会

1月24日(日)